

(資料 2023. 10. 3)

水稻の刈取り状況（10月2日現在概況速報）について

1 水稻の刈取り状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 刈取り盛期（50％）は、平年より7日早い9月27日頃と推定されます。
- (2) 10月2日現在、県全体の水田の74％で刈取りが終了しており、地帯別では、北上川上流60％、北上川下流80％、東部72％、北部63％となっています。

表1 県内水稻の刈取り状況（10月2日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	10/2現在の刈取り進捗(%)					本年の刈取り時期(月/日) ²⁾					
	本年	過年次同時期				始期 盛期 終期			平年(月/日) ³⁾		
		平年	R4	R3	R2				始期	盛期	終期
北上川上流	60	32	26	38	29	9/19	(9/29)		9/24	10/5	10/16
北上川下流	80	37	12	68	42	9/18	9/26		9/24	10/3	10/13
東 部	72	45	38	70	42	9/18	9/26		9/23	10/1	10/13
北 部	63	27	27	47	23	9/19	9/30		9/27	10/6	10/17
県 全 体 ¹⁾	74	35	17	59	38	9/18	(9/27)		9/24	10/4	10/14

1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。

2) 刈取り時期…始期：10％、盛期：50％、終期：90％ の水田で終了した日。

盛期（括弧書き）は、10/2現在で未到達の市町村を含むため暫定値。

3) 平 年…平成25年～令和4年の10ヵ年の平均値。

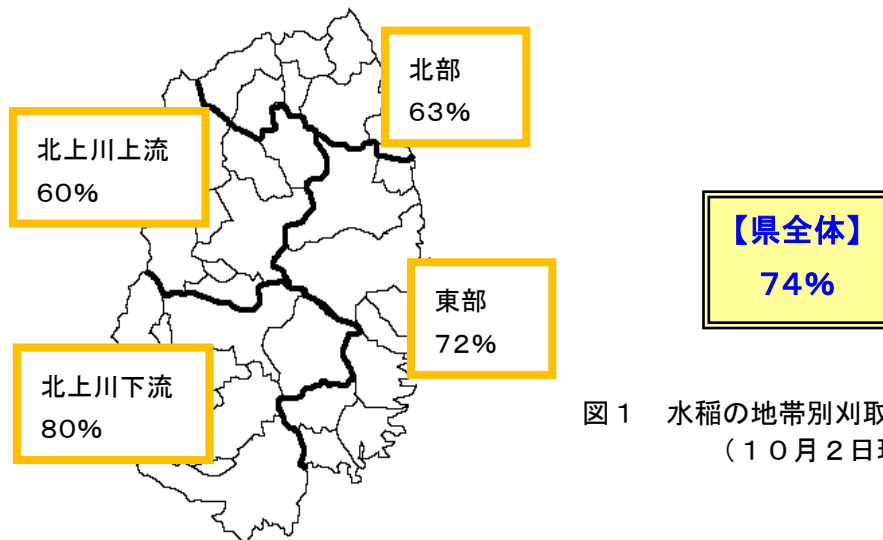


図1 水稻の地帯別刈取り状況
（10月2日現在）

2 当面の技術対策

- (1) 刈遅れは着色粒・胴割粒、白未熟粒の混入率を高めるので、速やかに刈取りを終えること。
- (2) 倒伏した圃場では、コンバイン等の作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- (3) 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- (4) 粳の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15％以下に仕上げること。
- (5) 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。